

和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：広報広聴委員会（和泉市府中町二丁目 7 番 5 号）電話：0725-99-8154（議会直通）
和泉市議会ホームページアドレス：<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

平成 27 年第 1 回定例会は 2 月 26 日開会の予定です



今年の干支ひつじ（内田町ひつじ公園にて）

平成 26 年第 4 回定例会終わる

平成 26 年第 4 回定例会を 11 月 28 日から 12 月 15 日までの 18 日間の会期で開催しました。

今定例会では、まず初日に平成 25 年度一般会計・特別会計 5 件・企業会計 3 件の決算認定を行いました。その後、議案 19 件、報告 5 件が上程され、「平成 26 年度和泉市一般会計補正予算（第 4 号）」など議案 3 件は即日可決し、その他の議案はそれぞれ付託した常任委員会で審査を行い全て可決しました。

12 月 10 日・11 日には 15 人の議員が、市政全般にわたる一般質問を行い、活発な議論が交わされました。

また、最終日には人事案件 2 件が上程され、議会として同意しました。

目次

- 平成 25 年度決算審査概要
・・・・・・・・・・ 2 ～ 3 ページ
- 常任委員会審査報告
・・・・・・・・・・ 3 ページ
- 一般質問
・・・・・・・・・・ 4 ～ 7 ページ
- 審議結果一覧表
・・・・・・・・・・ 7 ページ
- 次回定例会の予定等
・・・・・・・・・・ 8 ページ



平成25年度一般会計、各特別会計、水道・公共下水道・病院会計決算を認定



決算審査特別委員会での質問事項 (委員が行った質問の一部を掲載しています)

- ◇能力実績主義に基づく人事給与改革計画策定について
- ◇自然環境調査委託料について
- ◇市政情報発信事業の声の広報作成委託料について
- ◇レンタルサイクルの安全利用と保険加入について
- ◇和泉再生プラン進行管理事業について
- ◇イメージキャラクターの統一化について
- ◇市民活動支援事業支援金について
- ◇「市営唐国住宅建替基本計画」の位置付けについて
- ◇男女共同参画社会づくり啓発事業について
- ◇部活動への外部コーチ派遣について
- ◇自主防災組織育成事業に関する訓練事業補助について
- ◇スクールガードリーダーについて
- ◇還付加算金の支払い不足が発生している事について
- ◇奨学金制度を貸与型から給付型にする考えについて
- ◇障がい者のための基幹相談支援センターの課題
- ◇小中学校における空調設備の今後の整備計画について
- ◇介護サービス利用状況等調査委託料について
- ◇生涯学習サポート館等の貸し館の弾力化について
- ◇こども通院医療費助成を中3まで引き上げる事について
- ◇連合婦人会活動補助金に関する組織等の運営について
- ◇増加する、保育所の保留児童対策について
- ◇留守家庭児童会のさらなる時間延長の必要性について
- ◇公立保育所の臨時保育士の確保について
- ◇青少年センターにおける子ども電話相談の内容と実績
- ◇児童虐待防止支援員報償費について
- ◇全国学力テストの結果公表と活用について
- ◇育児支援家庭訪問支援員の処遇改善について
- ◇下宮町殿原井堰のファブリダムについて
- ◇児童発達支援センター整備事業の進捗状況について
- ◇国民健康保険の保険料引下げの考えについて

本会議初日に決算審査特別委員長が委員会の審査結果を報告し、それに対して討論が行われました。ここではその内容を一部要約して掲載しています。
採決の結果は審議結果一覧表（7ページに掲載）をご覧ください。

一般会計決算の討論

【賛成討論】市民税5%減税、水道料金8%減額が実施され、こども医療費助成拡充やエンゼルハウス事業の実施地区追加により子育て環境充実に努めている。消防署南分署開設や小中学校耐震化の達成により災害に強い安全なまちづくりにも力を注いでいる。

和泉府中新駅舎竣工や北部リージョンセンター整備工事着手、産業振興プラザ開設等により活気あるまちづくりに取り組んでいる。市立病院を指定管理者制度に移行し、救急医療早期再開に向けた取り組みを進めている。本市初となる施設一体型小中一貫校の設計や元横山高校跡地における総合スポーツ施設の基本計画にも着手した。全防犯灯のLED化や唐国住宅の建て替え計画、繁和橋整備事業推進、中学校3年生の教室へのエアコン整備等、さまざまな分野でバランスよく事業展開していることは大いに評価できる。

【反対討論①】毎年やめるべきだと指摘している府の人権啓発人材養成事業の負担金、市の人権協会助成金が今回も

支出されている。市立病院移転のために代替案もないまま市民プールの廃止が決定された。南池田第一・第二保育園が民間園へ移行された結果、和泉中央駅以南に公立園が2園しかなくなり選択の自由がますますなくなった。小中学校給食の委託・民営化が進められているが安心・安全・食育の学校給食のあり方を今一度考えるべきである。

市民税5%減税を実施されたがシステム改修を含め4億5千万円以上もの財源を失ったことになる。生活支援が目的のことだったが非課税の方は減税の恩恵を受けられなかった。低所得者対策というのであれば、各種減免制度創設・拡充や福祉施策の充実等に対応すべきだったと考える。

【反対討論②】市民税5%減税は財政基盤が磐石でない本市には荷が重いものだったが、市長公約を実現する目的のために貴重な税金が使われた。

泉州東部区域農用地総合整備事業で総事業費の7割以上の約220億円を投じて建設した農業用道路は用地買収の不調等により未開通のままである。先日通行量調査が実施

されたので当初1日約3千7百台と見込まれていた通行量が机上の空論であったことは間もなく明らかにされる。各農業団地では事業参画者の高齢化や土地利用のばらつき等の問題があり返還金未納事例も3件発生している。府への償還が完了する平成34年までに市が負担する利息が約3億5千万円にもなる上、各団地の建造物や道路の老朽化対策、のり面の維持管理等に相当の費用負担が予測され財政への影響が危惧される。

企業会計決算の討論

■公共下水道事業会計

本市では、平成25年度から約243億円をかけて公共下水道を市街化調整区域に布設し始めたが、最短でも20年かかり、布設が最後になる上流部の地域は、トイレの水洗化もままならない状況がその間続くことになる。人口減社会が目前に迫りながら、従来どおりの人口予測で過剰な下水道施設が建設された他市において、2年前に会計検査院から厳しい指摘があったことは記憶に新しい。

かつて農業集落排水事業で計画されていた地域は、PFI方式で合併処理浄化槽を設置することが決定している。合併処理浄化槽であれば全額市で負担しても約30億円と費用が8分の1程度に抑えられ、費用対効果は明白である。

■病院事業会計

病院の経営改善計画に沿った努力により、前倒しで経営改善を実施されている中、建て替え問題と抱き合わせて指定管理者制度導入を提案されたのは、そもそも整合性に欠けていた。

指定管理者選定時に応募されたのは徳洲会のみで、選定委員会での評価が8割未満であったにも関わらず決定されたことにも無理がある。

指定管理者が応募した時点でのスタッフ体制が、4月スタート時に守られていない状況について改善されていない。市民がもっと受診できるように、市は徳洲会に要求すべきである。

建て替え予定地も、防災面で大変問題があると思うので、もっと時間をかけて検討すべきである。

常任委員会審査報告

各委員会における質疑・答弁を要約して掲載しています。

総務安全委員会

公の施設の指定管理者の指定について(和泉市北部リージョンセンター)

【委員】収支計画で利用料金収入が27年度は845万円、28年度以降は1千414万円と計上されているがこの差は。

【理事者】開館日数を27年度は265日、28年度以降は359日で試算している。また、開業初年度は次年度以降より、知名度・認知度等の面から施設稼働率が低いことをも前提にしている。

【委員】土地購入・施設建設に係る総経費と、建築面積・延床面積は。

【理事者】土地の売却価格は約16億3千9百万円、建築費用はこれまでの請負金額と今後発注する造園工事費の合計で約8億5千万円の予定。建築面積は約1千5百平米、延床面積は約2千平米である。

【委員】地元団体から期待や意見等、いろいろ伺っている。実際に運営が始まる前に指定管理者と地元団体が意見交換できる場を設けてもらえるよう市からも働きかけてほしい。

都市環境委員会

和泉市廃棄物の減量推進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例制定について

【委員】日常ごみ収集運搬を有料化するにあたり、1リットルにつき1円とした根拠は。

【理事者】環境省によると料金水準が高いほど排出量抑制効果が高いとされている。多くの自治体で1リットル当たり1円から2円と設定されており、標準的な料金設定と考え決定した。

【委員】27年10月から有料化することだが市民への周知及びお試し期間に関する考えは。

【理事者】年明けから町会自治会へ説明に伺い、広報を通じても周知を行う予定である。有料化実施の際には、2ヶ月分相当の有料指定ごみ袋を無料配布し、啓発を行う予定である。

【委員】有料指定ごみ袋は自分で買に行かねばならないのか。

【理事者】現在のごみ袋と同じように、取扱店舗でのご購入をお願いする予定である。

【委員】高齢化社会が迫り、高齢になれば外出は困難になる。将来の市民サービスのことを現時点でしっかり考えてほしい。

厚生文教委員会

和泉市立北部リージョンセンター図書室について

【委員】北部リージョンセンター図書室の開館時間は午前10時から午後8時までのことだが、他の市立図書館(室)は。

【理事者】和泉図書館・シティプラザ図書館は平日午前10時から午後9時、土・日・祝日は午前9時から午後8時。人権文化センター図書室(にじのとしょかん)は火曜日から土曜日は午前10時から午後6時、日・祝日は午前10時から午後5時。南部リージョンセンター図書室は、開館日は全て午前10時から午後6時までとなっている。

【委員】北部リージョンセンター図書室の図書購入費は。

【理事者】今年度はオープンに向けて6千万円の予算を組み資料選定中だが、28年度以降は他の市立図書館(室)の状況に合わせて予算要求する。

【委員】広域利用は可能か。

【理事者】泉北地域4市1町(和泉・堺・高石・泉大津・忠岡)の相互利用は、オープン当初から可能である。



市政に対して 15人の議員が 一般質問

第4回定例会で行われた一般質問の内容をここでは紙面の都合上、一部を要約して掲載しています。

教育委員会制度について

矢竹 輝久議員

【議員】26年6月、教育委員会制度を定める法律が改定された。そもそもこの制度は戦前の教育が政治に支配されたことを教訓に、教育の自主性と政治的中立性を守るため、独立した教育委員会として設置された。今回の改定においても、①地方分権②民意の反映③一般行政からの独立は変わらないと文部科学省が答弁している。教育委員会の委員構成はどうなっているのか。

【理事者】現在、教育委員会

委員は教育長を含め定数は6名。人格が高潔で、教育及び文化芸術に関し識見を有する者の内から議会の同意を得て、市長が任命している。構成員は年齢・職業等に偏りがないよう配慮するとともに、保護者が含まれるように努めなければならないと規定されている。本市においては、保護者代表1名、教育関係者2名、学校保健関係者1名、学識経験者1名、行政関係者1名を任命している。

【議員】義務教育現場出身の委員を任命するよう要望する。

■その他の質問項目
・介護保険制度について

スポーツを通じた和泉シティ プロモーションについて スーパードルフィン議員

【議員】今年度も数々のスポーツイベントが開催されたが、イベントの種目数は。

【理事者】野球・サッカー・クロスカントリースキー・乗馬・登山・ニュースポーツ等、15種目のイベントに取り組んだ。

【議員】スポーツイベント担当部署の職員体制は。

【理事者】スポーツ振興課の

職員は課長以下、正職6名・再任用1名の7名体制である。

【議員】イベント開催時に、シティプロモーションの観点から市の魅力をPRするためには、各課の協力体制が必要不可欠だと考えるがどうか。

【理事者】イベント開催時には商工労働室、いずみアビール課、また職員等への参加要請を行っている。

【議員】今後の取り組みは。

【理事者】来年度も信太山クロスカントリースキー大会・オリックスパファローズとのコラボレーション・キッズフェスタの三大事業をはじめ各種スポーツイベントを行いたい。

【議員】沢山のスポーツイベントを開催し定住促進につなげると共に各課応援体制の確保を積極的に行って頂きたい。

市立病院問題について

岡 博子議員

【議員】指定管理者募集開始時期に比べ診療コマ数が減った。指定管理に移行しても医療水準を維持するはずだったが協定違反ではないか。医師を確保できる目処はあるのか。



【理事者】仕様書に診療コマ数等具体的な数値の記載はないが、総じて必要な医療が提供され仕様書水準を満たさないものではない。公募時の計画通りに運営する義務はないが医師確保は重要課題である。10月からは非常勤専門医が2名増え、来年度から常勤医師が2名増える予定である。

【議員】公募時の診療計画遵守を強く指導すべきだ。人間ドック対象者を広げる考えは。

【理事者】社会保険加入者も対象にする検討がされている。

【議員】新病院建設に関して徳洲会から、市民意見募集時と大幅に異なる提示がされた。今後、どのように協議を進め議会や市民に周知するのか。

【理事者】協議については指定管理者評価委員会委員長の見解を頂き対応する。合意可能な案ができ次第、議会に報告し市民にも適切に説明する。

【議員】専門家を入れるべきだ。

和泉市立病院について

小林 昌子議員

【議員】市立病院の医師の充足状況及び前年度と比較した入院・外来患者数は。

【理事者】26年10月から健診専門医と糖尿病専門医が週1度勤務している。4月から10月までの入院患者は1日平均151名で前年度の同時期より46名減。外来は平均471名で74名減となっている。

【議員】人材確保支援金の具体的な最終額は。

【理事者】165名分で総額約2億6千3百万円。市からの移籍者は110名で総額約1億9千2百万円、平均約170万円。新規採用は55名で総額約7千万円、平均約130万円である。

【議員】支度金は職員給与に返済相当額を増額し相殺する事になっているが、労働基準法第24条の賃金支払いの5原則に反するのでは。労働基準監督署の了解を得ているのか。

【理事者】徳洲会と本人が支払方法も含め合意している。24条の規定に違反しない。

【議員】労働基準監督署への

確認が必要なのではないか。

【理事者】労働基準監督署に適切に照会をしまいたい。

幼教審での市立幼稚園 問題審議は慎重に

早乙女 実議員

【議員】市立幼稚園問題を幼児教育振興審議会に諮問することだがなぜなのか。

【理事者】平成27年度からの子ども・子育て支援新制度開始に伴い、定員見直し等、今後のあり方を調査・審議する必要があるので諮問する。

【議員】スケジュールは。

【理事者】12月18日に審議会を立ち上げ、その後数回開催し平成27年7月頃までに答申をいただきたいと考えている。

【議員】これまでの審議基準を変更したのか。

【理事者】園の統廃合も審議するが、総合的に今後のあり方を審議するもので、基準を変更したわけではない。

【議員】全ての園が対象か。

【理事者】今後のあり方を、市立全園を対象に審議する。

【議員】市立幼稚園の「認定子ども園化」や「全園廃園」もあり得るのか。

【理事者】新制度では認定子ども園普及を図るとあるので研究していく。全園のあり方については審議会で検討する。

【議員】影響が大きい問題なので、情報の公開や慎重な審議を要望する。

北松尾小学校のダブル モジュールについて

坂本 健治議員

【議員】全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果で、大阪府の成績は全国47都道府県中ワースト3位、和泉市の結果もほぼ同様の内容で大変残念なことである。そのような中、体力や学力の向上に大きな成果を上げている北松尾小学校の独自の取り組み、「ダブルモジュール」とはどのような取り組みか。

【理事者】毎朝8時半から運動プログラムと言語活動を9分間ずつ行っている。運動プログラムは学年に応じてリズム体操やダンス運動等を行い、言語活動は読み物の暗唱や個人読書を行っている。運動と言語活動の2つを毎朝行っていることから「ダブルモジュール」と名付けている。

【議員】体力・学力向上に大きな成果を上げている本取り組みを全小学校で出来ないか。

【理事者】今後は新たにダブルモジュールを行う学校を募り研究を進めるための予算措置を行う必要があると考える。

【議員】ダブルモジュールのような効果が高い取り組みを小中学校に広め、体力・学力向上をめざすよう強く望む。

躍進プランについて

友田 博文議員

【議員】躍進プランにおける人口動向推計は。本市は20万都市をめざしていくのか。

【理事者】今後の本市の人口推計については、現在策定中の次期総合計画の中で検討している。現行の第4次総合計画では平成27年度の想定人口を20万人として、まちづくりに取り組んできた。

【議員】総合計画では20万都市をめざしてきたが、躍進プランの計画では人口減少を予測した内容となっている。「躍進プラン」の名称どおり、市を発展させていくためにも、20万都市をめざす必要がある

と考えるのか考えないのか。

【理事者】次期総合計画の策定を進める中で人口推計を丁寧に行いながら将来人口について議論を行ってまいりたい。

【議員】躍進プランの名のもと、市を躍進させるためには20万都市をめざし人口を増加させていく必要があると考え。本市が20万人都市をめざさないのであれば、躍進プランをはじめ総合計画等の本市に関わる全ての計画について見直すべきであると意見を申し上げます。

障がい者福祉について

石原 日出子議員

【議員】障害者総合支援法における移動支援事業と本市のガイドラインの内容及び、26年11月に作成された理由は。

【理事者】移動支援事業者登録にあたり遵守すべき関係法令、通達及び市の要綱や利用者負担、支給量、事業単価等についてとりまとめたもの。サービス利用内容や対象者等に関し拡大解釈した取扱いが一部見受けられるので、再度事業内容について周知を図る

意見書1件を可決し、関係各省庁に送付しました。

「国会における
憲法改正議論の推進を求める意見書」



ため作成し、11月に完成した。

【議員】移動支援事業の主体は市町村となるためサービスに関するルールは市町村により異なる。今回のガイドラインでは車椅子での外出のみを対象としているが、一律に線を引くだけでなく個々の状況に応じた柔軟な対応を考えていただきたいと思うがどうか。

【理事者】ガイドラインは従来制度を見直したものでないが、制度の狭間で困っている方がおられる状況もきちんと受け止め、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう柔軟なサービスを公平に提供できる制度設計を研究・検討していく。

新病院建設予定地の課題・元職員不祥事案のその後

藤田 充 議員

【議員】 新病院建設予定地の多目的グラウンドの利用者数は、工事期間中は2年間利用できないが代替施設の予定は。

【理事者】 主に35団体、延べ約1万人に利用されている。工事期間中は他の公共施設等をご利用いただきたい。

【議員】 横尾川公園高台に設置予定の多目的グラウンドは高齢者利用が多いので、駐車場に近い市民プール跡地に設置すべきだと考えるがどうか。

【理事者】 高齢者に配慮した施設レイアウトについて関係者と調整を行ってまいりたい。

【議員】 次に、元職員の横領事案についてだが刑事告訴後、家宅捜索等は行われたのか。

【理事者】 進展状況等は不明だが捜査に全面的に協力する。

【議員】 約1千7百万円の横領金は8月19日までに分割で返還されたが、市の損害金の請求はどうなっているのか。

【理事者】 延滞損害金など約290万円を請求しているが、現時点では納付されていない。

【議員】 税金を滞納すれば担当部署で差し押さえ等の処分

をしている。損害賠償請求も含め早急に対処すべきである。

トカイナカ No.1の和泉市をアピールすることについて

大浦 まさし 議員

【議員】 「トカイナカ」とは、都会と田舎の良さを併せ持つ住みよいまちを指す造語である。都会からマイカー等で片道1時間半から2時間で、ガスや水道等インフラが整い、近郊に病院やスーパー等がある地域とされ、関西ナンバー1のトカイナカと言われているのがまさに和泉市である。

本市で進められている子育て世代の定住促進のためには、子育てに関する安心材料を明確に打ち出しアピールすることが必要である。

特定不妊治療費の助成は現在も継続して実施しているか。

【理事者】 都道府県の事業として全国的に実施されているものに対して、大阪狭山市と並んで府下トップの上乗せ助成を行なっている。

【議員】 こども医療費助成は。

【理事者】 通院医療費助成を小3から中3までに拡充することについて検討している。

【議員】 小学校留守家庭児童

会の対象拡大検討については。【理事者】 平成27年度中には本市全ての留守家庭児童会で6年生まで受け入れていけるよう関係部局と協議中である。

犬猫殺処分ゼロ実現に向けて

末下 広幸 議員

【議員】 動物の遺棄・虐待は犯罪である。25年に法改正され、罰則が大きく引き上げられた。府では年間6千830匹の猫が引き取られ、返還・譲渡できたのは256匹で約4%と犬に比べると大幅に低く、致死処分率が90%を超えている。本市の猫の実態は。

【理事者】 大阪府動物管理指導所泉佐野分室によると本市から引き取られた猫は24年度73匹、25年度83匹である。

【議員】 野良猫は繁殖力が強く、1度の出産で3〜8匹出産し、年間2〜3回出産する。猫の去勢・避妊手術費用を助成している自治体もあるが、府内の状況と本市の考えは。

【理事者】 府内で助成を行っている自治体は14市あり、助成費用は1件2千5百円から1万円である。費用助成については、近隣市の状況も見据

えながら検討してまいりたい。

【議員】 会派から提出した平成27年度予算要望書に「犬猫殺傷ゼロ推進」を盛り込んだ。広域的に譲渡案内を呼びかけながら、人と動物が幸せに暮らす社会の実現をめざすよう取り組んでいただきたい。

庁舎整備について

知覧 正勝 議員

【議員】 先日、議員研修会で宮城県知事の講演を聴き、災害時の対策本部の重要性について再認識した。本市の庁舎整備検討の進捗状況は。

【理事者】 現在、課長補佐級を中心とした作業部会で検討を進めている。

【議員】 大地震はいつ来るかわからない。南海トラフ地震が30年以内に70%の確率で発生すると言われ、本市では震度6弱程度の規模になると想定されている。大規模地震が発生した場合、和泉市の庁舎はどうなるのか。

【理事者】 庁舎の耐震性能については、1号館・4号館・5号館が満たしていない。

【議員】 市役所には来庁される多くの市民もおられる。市

民や職員の安全確保のため、庁舎整備が早急に必要では。

【理事者】 できるだけ早く結論を出す必要があると考える。

【議員】 耐震補強も含めて検討されているようだが、20数億円をかけて実質4〜5年しか使用できない耐震補強は費用対効果からも選択肢から外れると考える。建替えにシフトした検討を早急に要望する。

市長公約の窓口サービスの充実について

森 久往 議員

【議員】 市長公約である窓口サービスの充実の進捗状況及び出張所の位置付けと役割は。

【理事者】 平成27年2月から毎月第4日曜日に本庁市民課を開庁し、4月1日から出張所開設時間を延長、4月中旬「おもてなし処」でのサービスを開始予定。出張所は本庁窓口の延長の位置付けで、各種証明書発行業務や転出入等ライフイベントに伴う届出の申請・受付業務をワンストップサービスにより行う。

【議員】 近隣市町の出先機関の業務取扱い状況と比較してどうか。また、市民満足度は。【理事者】 人口10万人から20

万人の府内9市のうち同程度の業務を取扱うのは富田林市のみ。毎年行うアンケートでは「安心してスムーズに手続きができたか」という質問に対し、昨年度は97%の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答されている。

【議員】 マイナンバー法運用開始後の窓口業務の変更点は。

【理事者】 各種届出に伴う証明書添付省略等が想定される。

【議員】 夢の窓口サービスとしてさらなる充実に期待する。

子育て支援について

服部 敏男 議員

【議員】 幼児2人同乗用自転車の性能や要件は。

【理事者】 幼児2人を乗せても安全に走行できる自転車で、16歳以上の運転者が6歳未満の幼児2人を乗せることができる。安全性が認証された自転車には、BAAまたはSGマーク及び基準に適合していることを示すシールが付く。

【議員】 この自転車の購入費助成や貸出し支援等を実施している自治体もあるが状況は。

【理事者】 府内では、堺市は自転車の無料貸出しを行っており、松原市・泉大津市は上限があるものの購入費用の半額を助成している。府外でも実施している市町村はあるが、ほぼ同様の内容である。

【議員】 本市においても、ぜひこの支援を行えないか。

【理事者】 利用者のニーズや他市の事例等も参考にしながら、調査・研究していきたい。

【議員】 予算面で可能な範囲で、早急に実施できないか。

【理事者】 本市では、さまざまな子育て支援を行っている。調査・研究を重ね、有効な施策と判断されれば、本市でも取り組んでまいりたい。

生活困窮者自立支援法について

松田 義人 議員

【議員】 新年度から施行される生活困窮者自立支援法とは。

【理事者】 生活保護受給を抑制するものではなく、自立支援強化を図り相談者の意向に沿って支援を行うものである。

【議員】 福祉制度は縦割りで細分化され申請要件や手続き

が複雑化し制度を活用できない方やそれらの存在すら知らず困窮している方がおられる。必要な支援を行き届かせる積極的な取組みが必要と考えるが、事業実施に向けた方法は。

【理事者】 自立相談支援に係る相談窓口を設置し地域の相談機関等と連携しアウトリーチを行う。住宅確保給付金支給や一時生活支援を実施し就業支援や子ども学習支援等については検討してまいりたい。

【議員】 青少年センターでの学習支援や若年層の居場所づくり、人権文化センターでの総合生活相談事業や寄り添い支援等と連携し自立支援を進め、一体的に対応できる新制度を構築し、次世代への貧困の連鎖を断ち切る必要がある。

■その他の質問項目
・信太・富秋中学校校区の交通対策について



定例会審議結果一覧表

件名	委員会	本会議
平成25年度和泉市一般会計決算認定について	認定 (賛成多数)	認定 (賛成多数)
平成25年度和泉市国民健康保険事業特別会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
平成25年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
平成25年度和泉市市街地再開発事業特別会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
平成25年度和泉市介護保険事業特別会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
平成25年度和泉市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
平成25年度和泉市水道事業会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
平成25年度和泉市公共下水道事業会計決算認定について	認定 (賛成多数)	認定 (賛成多数)
平成25年度和泉市病院事業会計決算認定について	認定 (賛成多数)	認定 (賛成多数)
公の施設の指定管理者の指定について(和泉市北部リージョンセンター)	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
和泉市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
市道路線の認定について(はつが野84号線ほか5路線)	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
和泉市廃棄物の減量推進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
財産取得について(小中一貫校用地)	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
和泉市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
その他、議案12件、報告5件、監査報告9件、人事案件2件、意見書1件がそれぞれ可決等されました。		

トピックス

議員研修会

平成26年11月21日に大阪府市議会議長会主催の議員研修会が吹田市で開催され、本市議会からも多数の議員が参加しました。



演題：「大震災の教訓・復興への課題と独自の取り組みについて」

講師：宮城県知事 村井 嘉浩 氏

インターネット映像配信

議場で行う本会議や予算・決算審査特別委員会のインターネット映像配信に加え、委員会室で行う常任委員会、庁舎整備特別委員会の映像もインターネットで配信しています。生中継のほかに録画放送もご覧いただけます。

詳しくは和泉市議会ホームページをご覧ください

和泉市議会

検索



市議会ツイッター発信

インターネット上のコミュニケーションサービス **twitter** (ツイッター) を利用して、会議の日程・進捗状況や市議会ホームページの更新情報などを発信しています。



「和泉市議会」をフォローしていただきますと、すぐに情報をご覧いただくことができますので、どうぞご利用ください。

紙面についてのご意見をお聞かせください

読みやすい紙面づくりのために、皆さまからのご意見を募集しています。電話またはファックス、市議会ホームページ「ご意見・お問い合わせ」フォームからご意見をお寄せください。

〒594-8501 和泉市府中町二丁目7番5号

和泉市役所 議会事務局

電話:0725-99-8154 (直通)

FAX:0725-43-4525



次回定例会の予定

議事の都合により日程や開会時間に変更される場合もありますので、詳しくは電話：0725-99-8154 市議会事務局へお問合せください。

日 程	会 議	場 所	開会時間
2月19日(木)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
2月26日(木)	本会議 (議案審議)	議 場	午前10時
2月27日(金)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月 2日(月)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月 3日(火)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月 6日(金) ～12日(木)	予算審査特別委員会	議 場	午前10時
3月16日(月)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
3月20日(金) ～24日(火)	本会議 (一般質問)	議 場	午前10時
3月25日(水)	本会議 (議案審議)	議 場	午前10時

特別委員会及び定例会の傍聴

(のべ人数)

	開催期間	傍聴者	ライブ中継閲覧者
決算審査特別委員会	10月20日 ～10月24日	1人	70人
本 会 議	11月28日 ～12月15日	2人	59人
常任委員会	12月1日 ～12月3日	1人	※

※委員会室で開催される会議は、ユーストリームで中継を行っており、閲覧者数は把握できませんのでご了承ください。

人事案件に同意

次の方が市長に選任・推薦され、議会として同意しました。

教育委員会委員

《新任》^{ふじわら やすじ} 藤原 安次氏 (室堂町在住・和泉市顧問)

任期：平成26年12月22日～30年12月21日

人権擁護委員候補者

《再任》^{よねだ ゆたか} 米田 豊氏 (王子町在住・会社役員)

《再任》^{かどばやし りえこ} 門林 利栄子氏 (池田下町在住・無職)

《再任》^{こしも よしたか} 古下 義隆氏 (芦部町在住・会社役員)

任期：平成27年7月1日～30年6月30日